

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 597 号	氏名	江越 貴文
学位審査委員	主 査	渡邊 郁哉	
	副 査	村田 比呂司	
	副 査	原 宜興	
論文審査の結果の要旨 1. 研究目的の評価 本研究は、純チタンと前装用レジンとの接着に対する表面処理の効果を評価したものである。アルミナによるサンドブラスト、硫酸と塩酸からなる酸処理剤によるエッチング、リン酸エステル系プライマーを組み合わせた表面処理を応用し、接着への効果を明らかにしようとするもので、研究目的は妥当である。 2. 研究手法に関する評価 第4種純チタン製の試験片に対してサンドブラスト処理、エッチング処理、プライマー処理を施したもの及び、これらを施さないコントロールが用いられた。接着強さの評価と併せて、破断面観察による接着破壊様式の分類が行われた。さらに、各表面処理後の試料が走査型電子顕微鏡で観察され、超深度形状測定顕微鏡によって表面粗さが測定された。このように複数の手法を用いて分析されており、統計処理も適切であるため、研究手法は妥当と考えられる。 3. 解析・考察の評価 純チタンと前装用レジンとの接着において、サンドブラスト、酸処理剤によるエッチング、リン酸エステル系プライマーの併用が有効であったことに関して、サンドブラストとエッチングによる超微小機械的維持と、リン酸エステル系モノマーと純チタン表面の化学的結合の2つの効果が考察として示されている。これらの研究結果と考察内容は高く評価でき、今後の研究の展開、臨床への応用が大いに期待できる。 以上のように本論文は歯科補綴学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。			